

健康・福祉

01 唄って踊ってボランティア　元気・笑い・若さをお届けします

私達は、「楽遊会」と名付けてボランティアをしています。
サロン・敬老会・お祭り・ディサービス等に出向いて、会員各自が持っている様々な「特技・演芸」を披露し、皆さんに元気・笑い・若さを与えられるよう、活動に励んでいます。
現在会員は8名です。約15年前よりそれぞれが個々に芸を披露していましたが、時々顔を合わせていたことが縁で、平成29年4月に楽遊会を結成し、団体での活動をスタートしました。
「唄って踊って」というキャッチフレーズの通り、歌謡曲・日本舞踊・腹話術・楽器演奏・安来節（どじょうすくい）・足芸などの様々な芸を客層に合わせて披露しています。好評で大盛り上がりで、毎年定例的に予約していただいているところもあります。
私達にとって、活動を通じ皆さんが笑い喜んでくれる元気な姿を見たり、会話を楽しめることが何にも代えがたい生きがいになっています。毎回、私達が元気・やる気を会場からいただいていると感じています。
皆さんの口コミで、令和元年度は藤枝市内で30回活動ができました。皆様のご要望により藤枝市内どこでもお伺いし、皆さんと共に楽しみたいと思っています。お声掛けをお待ちしています。





企業 行政 地域 教育 NPO その他（福祉施設）

お問い合わせ
楽遊会
TEL 090-2619-2205　代表 津金　敬三

市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：8人

ボランティア参加 OK

サロン・敬老会・仲良しクラブ、
どんな団体でも
お声掛けをお待ちしています。
ぜひ一度ご覧ください！

健康・福祉

02 高齢者の認知予防の集い

平成30年に、藤枝市主催の「シニア大学」の卒業生・ＯＢ会の仲間が集まり、「はつらつ笑寿会」が発足しました。
家の中にこもりがちにならないように、毎日生き生き暮らせることを目指して、60代から90代の24名が毎月2回集まり、楽しく活動しています。
高齢者同士、お互いに会話をしながら、教材を使っての学習や、昔習った「そろばん」で計算をしたり、多様な学習を行う工夫をしています。
【活動内容】
脳の活性化のための活動…国語、算数の学習（小学校程度～）・文章の音読や読み方クイズ・塗り絵・そろばん
外部講師によるセミナー…交通安全教室・オレオレ詐欺防止講座・食事療法講座・医療保健講座
【お楽しみ活動】
静岡空港視察会・年2回の食事会





企業 行政 地域 教育 NPO その他

お問い合わせ
はつらつ笑寿会
TEL 090-3582-1279　代表 堀江　猛夫

市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：24人

ボランティア参加 OK

認知症の予防に
役立つ高齢者の集いです。
毎月2回の学習会及び
セミナー等行っています！

健康・福祉

03 聞こえにくい人に、声を文字で伝えよう！

耳の不自由な方、中でも中途失聴・難聴者は、その障害が見た目では分かりません。そのため、聞こえにくさが理解されず、困っていることにも気づいてもらえず、孤立を招くこともあります。要約筆記サークル「藤枝」は、そのような状況への理解・周知に努め活動するため、また、「要約筆記」（話の内容をその場で要約し文字で伝える通訳）を広く一般に啓発することを目的に設立されました。会員は、要約筆記者、中途失聴・難聴者、一般の支援者で構成され、現在20名です。主な活動としては以下のとおりです。
①月１回の例会、交流会を開催。情報交換やイベント企画、会員同士の親睦を図る。
②年１回、藤枝市と共催で要約筆記ミニ講座を開催。
③藤枝市社会福祉協議会を通じ依頼を受け、市内の小中学校で福祉授業を行う。
④耳マーク（聞こえの不自由な方へのヘルプマーク）の普及活動。
聞こえに不安がある方も困らないよう、例会では、常に要約筆記が付き、難聴者向けの機器や福祉サービスなどの情報も得ることができます。また、交流会やイベントなど、その他のサークル活動においても、要約筆記や筆談でコミュニケーションを取っているので、聞こえにくくても、安心して参加できます。
今後は、広く一般の人にも要約筆記の存在を知ってもらい、同時に、誰にでもできる支援として筆談や書いて伝える方法があることも知ってもらいたいと思います。





企業 行政 地域 教育 NPO その他

お問い合わせ
要約筆記サークル「藤枝」
TEL 054-645-4188　代表 井上　耀子
MAIL yok-yos-i@docomo.ne.jp

市民団体活動表彰平成28年受賞団体　会員数：20人

会員募集中

声を文字に。
難聴者の笑顔が
広がる。

健康・福祉

04 地域をもっと健康に！「私達の健康は私達の手で」をスローガンに"食"の大切さを伝えます！

健康づくり食生活推進協議会（通称：食推協）は、「私達の健康は私達の手で」をスローガンに掲げ、地域ぐるみで食を通した健康づくりを行うボランティアとして活動している全国組織です。藤枝市では、昭和56年に発足して以来38年、現在は、稲葉・葉梨・西益津・藤枝・青島・高洲の6つの支部に分かれ活動しています。

各地区交流センターにて、親子向け、男性向け、低栄養予防、減塩をテーマに市民向けに料理教室を開催したり、放課後児童クラブで食育教室を行ったり、市主催イベントで食育啓発や地元情報誌「むるぶ」へレシピ記事の掲載を行うなど、対象は子供からお年寄りまで幅広く、多くの市民に食と健康の大切さを伝えています。会員同士の交流会も積極的に行うことで、食や健康に関する情報交換ができ、楽しみながら新しい知識を取り入れています。また、市主催の会議に食を通じた健康づくりを推進するボランティア団体の立場で委員として出席することもあり、市内の食育活動の中心的な役割を担っています。

今後も、継続的かつ活発な活動により、健康の輪を少しずつ広げ、藤枝市の健康づくりに貢献していきたいと思います。





お問い合わせ

藤枝市健康づくり食生活推進協議会

TEL 054-645-1111（健康推進課）　代表 是永　ふみ代

市民団体活動表彰平成30年受賞団体　会員数：72人

会員募集中　ボランティア参加 OK

食推協で一緒に料理を学び、地域の方に食を通した健康づくりの大切さを広めませんか？

企業 行政 地域 教育 NPO その他

健康・福祉

05 葉梨地区買い物支援事業

地域の一人暮らしの高齢者への聞き取りから、買い物と通院に困っている人が多いことがわかりました。葉梨地区社協では、その課題解決の第一段階として買い物支援事業を実施することとし、「葉梨ささえ愛隊」として、令和元年10月1日に支援活動をスタートしました。開始にあたり、運転ボランティアさんが何人集まるかが一番心配でしたが、呼びかけによりほぼ目標通りの19名が協力してくれ、また、利用者（会員）も気になっていましたが、こちらも20名ということで順調なスタートができました。

当初、葉梨地区にはスーパーが4店舗あるため、順番に1日1店舗（午前・午後）の運行をしてきましたが、会員利用者数が伸びませんでした。このため、令和2年5月から行きたい店舗を自由に選べるようにし、葉梨地区外の人気のスーパーを1店舗追加した結果、利用者数が5割以上増加し、定員数オーバーで利用日を変更する会員も出てきているなど、活動が軌道に乗り始めています。

今後は、一人暮らしの高齢者の人の閉じこもりを少しでも減らすため、買い物での往復時間に楽しい会話ができるよう工夫していきたいです。また、通院支援の要望の声も多く、運行方法が難しいですが、関係団体等と協議しながら前向きに検討していきます。更に、事業継続のため、運転ボランティアの募集や利用会員の増加に向けたアピールにも力を入れたいと思います。





お問い合わせ

葉梨ささえ愛隊

TEL 054-644-2232　代表 木瀬 榮治

MAIL keiyuux-279@xb3.so-net.ne.jp

市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：47人（会員・ボランティア・運営委員）

会員募集中　ボランティア参加 OK

葉梨地区の高齢者で、買い物に行くのに不便をきたしている方がおりましたら、葉梨地区交流センター（638-1376）までお問い合わせください。

企業 行政 地域 教育 NPO その他

健康・福祉

06 「通いの場」高齢者も元気にまちづくり！

令和元年５月に大洲地区地域ケア会議が開催され、「大洲地区の65歳以上の現状と課題」という議題の中で、「泉町は大洲地区で高齢化率がダントツで37.6%」ということを知りました。町内の高齢者と自分のために行動しなければと強く思いました。また、継続するには協力者が必要と考え、早速男性2名女性１名に協力を呼び掛け、「地域のためにやりましょう！」と快諾を得て活動を始めました。早速４人で「アクティブシニア大学総合学部健康学科藤枝教室（主催：地域包括ケア推進課）」に申込み、7月から15回教室で受講しました。

受講後、この感動を地元泉町に持ち帰り自主活動に活かそうと、令和2年1月のスタートに向け準備を始めました。11月～ 12月はロコモ予防体操の復習、発会のための会議、ビラの回覧で会員募集、12月には3回「お試し」を実施しPR。努力が功を奏し参加者が増え、どんな体操なのか興味を持っていただきました。

令和2年1月9日には、参加者19名・ボランティア4名の計23名で発会式を行い、活動をスタートさせました。毎週木曜日（13：30～ 15：00）、泉町公会堂で活動しています。男性8名女性15名、年齢層も86歳男性～ 67歳女性と幅広いです。ストレッチ、ロコモ予防体操、脳トレも入れ大笑い。効果確認のため3ヶ月毎に体力測定。現在はコロナ禍で参加者20名で活発に活動を継続中、「通いの場」や「居場所」にもなっていると思います。





お問い合わせ

ロコモ泉

TEL 054-635-6338　代表 西尾　敏晴

会員数：23人

協力者に感謝、心身共に健康を増進させ長続きする活動になるよう頑張ります。

企業 行政 地域 教育 NPO その他（地域包括支援センター愛華の郷）

健康・福祉

07 ボランティアさん手作りのお弁当でみんな元気！！

藤枝地区ふれあい会食会は、65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に、毎月第3木曜日に生涯学習センターで開催しています。対象地区は藤枝地区です。

この会は30年ほど続いており、ボランティアグループ「蓮の実会」と藤枝第1・2地区民生委員・児童委員協議会で企画運営しています。会員の皆さんに楽しんでいただけるように、体操やゲーム、琴やバンドの演奏、脳トレ、手芸等やっています。蓮の実会のボランティアさんの手作りお弁当を、参加者みんなで一緒におしゃべりをしながら、美味しくいただいています。しかし、令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手作りのお弁当ではなく、業者さんのお弁当をお持ち帰りいただいています。参加される会員の皆さんは、「みんなと会えて嬉しい！」と…。

手作りのお弁当を食べながら、おしゃべりできる日が早く来ますように！







お問い合わせ

藤枝地区ふれあい会食会

TEL 054-644-7527　責任者 亀澤　幸子

会員数：48人

会員募集中　ボランティア参加 OK

お料理や活動の支援を一緒にやってくれるボランティアさんを募集中です！

企業 行政 地域 教育 NPO その他

健康・福祉

08 人生は二幕目が面白い　“生きがいづくり仕掛け人”




厚生労働省所管の健康・生きがい開発財団の認定する「健康生きがいづくりアドバイザー」資格を取得し、県内居住者が高齢化時代に備えた「健康生きがいづくり活動」を支援し、「健康予防日本一」、「健康長寿日本一」の推進に寄与するために平成16年7月に設立し活動を開始しました。
健康で生きがいのある生活を継続することは大変重要なことです。高齢者が元気で社会活動に参加できる仕掛けづくりとフレイル予防等生活習慣病予防に向けた介護予防活動を行っています。
主な活動内容は、
①藤枝げんき塾「脳の健康教室」…「読み書き」「計算」「すうじ盤」による認知症予防（週1回／毎週火曜日）
②健康ウォークの開催による健康づくりと仲間づくり…月1回の里山ウォーク
③ニュースポーツ、「ディスコン」「ふまねっと運動」を通した認知機能の改善及びフレイル予防…コミュニケーションづくりによる仲間づくり（月1回）
④生きがいを奏でよう！「一芸＆達人大会」の開催による社会活動参加への仕掛けづくり…特技や趣味を観客の前で発表して、同好の仲間を集める。（年1回）
※「健康生きがいづくりアドバイザー」の認定は厚生労働省所管の「健康・生きがい開発財団」が行っています。



企業 行政 地域 教育 NPO その他

お問い合わせ

静岡県健康生きがいづくりアドバイザー協議会

TEL 090-4853-3066　代表 藤田　秋夫
MAIL ikigai-shikake2004@leaf.ocn.ne.jp

市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：65人

会員募集中　ボランティア参加

第二の人生は、
自分自身の生きがいづくりから
始めましょう！

健康・福祉

09 地域支え合い出かけっCARサービス事業



大洲地区社会福祉協議会が令和元年10月から12月にかけて、全世帯を対象に実施した「高齢者の困りごとアンケート」の中で一番多かった困りごとが【一人暮らしの高齢者が買い物、病院等に出掛ける時の交通手段がない】ことであり、移動支援は切実な問題であることがわかりました。そこで、令和2年度の大洲地区社協総会において移動支援の担い手となる移動支援部を立ち上げ、令和2年10月1日より事業「地域支え合い出かけっCARサービス」を開始することを決定しました。
早速、運転ボランティア等の募集、マニュアル作成、利用者の募集、運転ボランティアへの説明会、運転講習、運航計画の作成、試運転等、短期間で事前の準備を行い、令和2年10月1日には、大洲地区社協、市、市社協の共催で大洲地区交流センターを会場に出発式を行い、地域住民や来賓、利用者など50人程が集まり、新たな取り組みのスタートを祝いました。この後、買い物支援を利用する高齢者が車両に乗り込み、近隣のスーパーと薬局で1時間程、生鮮食品などの買い物を楽しみました。帰りの車内では利用者同士、和気あいあいと話が弾み、「一人暮らしなのでこうした支援があると助かる」と皆さん喜んでいました。
買い物支援が軌道に乗ったら、次はサロン・会食会の送迎にも利用していただき、将来的には通院の送迎も検討していきたいと考えています。



企業 行政 地域 教育 NPO その他

お問い合わせ

ノアの運ぶネ

TEL 090-3250-8539　代表 小澤　勝平

市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：32人

会員募集中　ボランティア参加

高齢者移動支援事業
「地域支え合い出かけっ
CARサービス」の運転
ボランティア・アシスタントを
募集しています。

健康・福祉

10 ボール体操で健康づくり、仲間づくり



数年前、シルバー人材センター主催の「ボール体操教室」が開かれ、大勢の方々が集まり、毎週、にぎやかに開催されました。ちょっと空気の抜けたボールを相手と握ったり叩いたり、腰掛けたまま体操を進めます。
それからずっと続けて、現在、自主グループとして、毎週、青島北地区交流センターを会場に元気に楽しく体操をしております。
毎回、元祖のボール体操はもちろん、教本に従い実施しますが、自己流で考えたダンスや手おどり、足を鍛える運動など、高齢者の身体にあわせた体操を毎回やっています。
会長が他から得た知識や体操を紹介し、皆で研究しあう時もあります。
そして、雑談も目的のひとつで、毎回、いろいろな話題を自由に話して、さっぱりした気分で講座を終了します。
少し前、押し車を押して参加してくれた方が、福祉施設に入られ、来なくなったことは淋しい限りですが、楽しい出会いもたくさんあり、皆で元気で明るく活動をしています。



企業 行政 地域 教育 NPO その他

お問い合わせ

青北バルーンクラブ

TEL 054-644-8216　代表 阿部　加江

会員数：12人

会員募集中　ボランティア参加

ボール体操で、
仲間と一緒に楽しく過ごし、
健康寿命を
増やしましょう！

健康・福祉

11 地域の活性化の源は、お年寄りの笑顔から。元気で生き生きと過ごすパワーつくりを応援します。



食べることは、行動力の原点になります。なおかつ、仲間との良き触れ合いは、心の安定や癒しとなり、生きる糧になります。
瀬戸谷地区では、5人に2人が高齢者。地域の活性化は、元気なお年寄りがいてこそであると感じています。その元気を応援するための居場所つくりとして、ささゆりの会が始まりました。普段あまり外出しない方や、一人暮らしの方にとっても、参加者同士の相互理解を深め合う貴重な機会です。月1回高齢者が集い、会食を中心とし、講師を招いてのイベントや、頭と体の“老いないトレーニング”、歌も欠かせません。残念ながら、昨今のコロナ禍により、食事会や小中学生との交流ができないなど、思うような活動が難しいこともありますが、毎回、“今日も楽しかったよ”の一言がボランティアを励ましてくださり、やりがいにつながっています。
社会福祉協議会や地区交流センター、自治会の支援が整ってこその活動です。感謝するとともに、この会でボランティアパワーを向上させて、息の長い活動として、更に地域のお年寄りが広く利用する居場所になっていくように、楽しく努力していきます。



企業 行政 地域 教育 NPO その他

お問い合わせ

瀬戸谷地区社会福祉協議会　ささゆりの会

TEL 054-639-0584　代表 杉田　妙子
MAIL ji-ji1016-0812@ai.tnc.ne.jp

会員数：33人（うちボランティア9人）

会員募集中　ボランティア参加

活動に役立つ
ボランティアのスキルや
テクニック、教えてください！
歓迎します。

健康・福祉
12 ももはな作文集朗読会

普段の生活や学校教育の中で、子ども達が障がい者の皆さんやその家族の状況や気持ちを知り、理解する機会はなかなかないと思います。保護司時代に、中学校で、障がいのあるきょうだいを家族に持つ子ども達がその体験や気持ちを綴った「ももはな作文集」を元アナウンサーが朗読する「ももはな朗読会」を始めました。保護司を引退した現在はNPO法人を立ち上げて活動を続けています。
子ども達に、朗読会を通じて障がいのある人への理解を深めて関心を強めてもらい、同時に、いじめの減少に繋げたいと思っています。
新聞やテレビでは、年々いじめ問題が取り上げられていますが、朗読会を開催した学校ではいじめが減ってきているようであると聞くことができ、自分達の活動の意義を感じています。
また、朗読会に参加した子ども達の感想は、毎回心に沁みてきます。法律や制度を埋めるのは人の心です。兄弟姉妹達が自分の言葉で発信する、それを若い心が受け止める。この意義ある活動を更に広めて、活動を継続していきたいと思います。







お問い合わせ
市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：28人

NPO法人藤枝ももはなの会

TEL 090-8553-6342　代表 南條　怡三
MAIL minami4590@ab.thn.ne.jp

市内の全中学校で
開催することを目標に、
今後も頑張っていきます。



健康・福祉
13 視覚に障害のある方々に『声の広報』をお届けします。

昭和48年に市が始めた広報ふじえだの音訳は、昭和52年5月号からは一般募集したボランティアで行うようになり、10月には団体を「サークルふじ」と名付け、以来40年以上活動しています。現在、広報ふじえだに加え、ふじえだ市議会だより、ふじえだ社協だよりもお届けしています。
「できる時に、できる人が、楽しく」をモットーに、月2回程活動していますが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により皆が集まっての活動は難しく、揃っての活動を縮小し、会員各自が自宅で録音するなど、工夫して活動を続けています。
『声の広報』を多くの方に聴いていただきたいですが、なかなか新規に利用を希望される方がなく、苦慮しています。
視力に障害のある方で、広報などの情報を希望されている方をご存知でしたら、その方にお話しください。ご本人のお申し出があれば、一層の喜びです。
その他にも、サークルふじでは、岡出山図書館で幼児・小学生低学年を対象に月1回紙芝居、障がい者スポーツ大会や戦没者追悼・平和祈念式典、健康福祉大会などの司会進行のお手伝いをしています。
令和2年度はコロナ禍で思うような活動ができませんでしたが、思い切り活動できる日を会員一同願っています。





お問い合わせ
市民団体活動表彰令和2年受賞団体　会員数：10人

サークルふじ

TEL 054-643-4861　代表 松本　ミサオ

会員募集中　ボランティア参加 Ok

会員は音訳の特別な指導は
受けていません。日本語が
読めて話せれば、どなたでも
活動に参加できます。ぜひお仲間
になりましょう。お申し出を
待っています！

地域コミュニティ
01 野菜づくりと仲間づくり活動を通じて地域コミュニティを広げよう！

私達は、藤枝市が実施した「ディーセントライフ（生きがいのある暮らし）事業」の農業体験プログラム（耕作放棄地での農業体験を通じた仲間づくり事業）を継承し、新たに「ディーセント'18」として発足しました。活動期間は前身の事業開始以来8年を超えていますが、未だ予測できない天候との戦いに快い汗を流し、喜びも分かち合いながら「仲間づくり」「健康づくり」「野菜づくり」を大いに楽しんでいます。
通常の活動は澄み切った空気を胸いっぱいにいただきながら、堆肥づくり、畑づくりに始まり、「じゃがいも・さつまいも・大根」などの定植・中耕・除草・土寄せなど土と触れ合う作業が中心ですが、「食育活動」として、市民の子連れ家族・近隣園児への農作物収穫体験の機会を設け、会員共々収穫の喜びを満喫することも大切な活動行事です。
また、「地域支援活動」として、市民活動団体「こども食堂」へ食材として収穫農産物を提供すること、「和菓子づくり体験教室」「味噌づくり体験教室」などの開催、各種イベントでの直売など、育成した農作物の活用の機会も、会員の大きな喜びとしているところです。
これからもこうした地域コミュニティとの繋がりを大切に、活動を拡充していきます。







お問い合わせ
市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：15人

ディーセント'18

TEL 090-7672-5688　代表 大石　茂
MAIL miohiro.baba@ac.auone-net.jp

会員募集中　ボランティア参加 Ok

私達は、土と野菜との触れ合いが
大好きなグループです。
興味のある方は
ぜひご一報ください。
活動現場をご案内します。

地域コミュニティ 02

ちょっとした困り事をご近所同士で助けあい

青島第8助けあいの会 はちすけは、青島第8自治会（瀬戸新屋・水上・南新屋・新南新屋・芙蓉台・緑の丘）内において、高齢者をはじめ、障害者、子育て世帯などの日常生活でのちょっとした困りごとを地域で手助けする住民組織です。
活動のきっかけは、地域のサロンで、「高齢化が進む中、地域の困りごとをご近所同士で支えあう仕組みがほしい」という声が上がったことでした。自治会内の全世帯にアンケートを実施した結果、組織の必要性を確認したため、プロジェクト委員会を設置して、その仕組みを検討。令和2年10月25日に発足し、翌月から活動開始に至りました。
支援内容は、庭の草刈りからゴミ出し、子どもの一時預かりなど多岐にわたり、お年寄りのみならず、障害者や子育て支援にもつながる青島第8自治会のオリジナルのご近所同士の助けあいの仕組みになっています。
利用希望者は会員になり、町内会ごとに配置したコーディネーターを通じてボランティア会員を派遣する制度で、利用希望者は入会金として1世帯千円を納入、利用料金は30分につき250円です。
“遠くの親戚より近くのはちすけ”。この活動を住民みんなで育てていきたいと思っています。





お問い合わせ
青島第８助けあいの会 はちすけ
TEL 090-2779-6852　代表 内藤　忠男

会員数：ボランティア会員75人

会員募集中

ボランティア参加 OK

青島第8自治会に住む皆さん、
気軽にご利用ください。
ボランティア会員募集中です。

企業 行政 地域 教育 NPO その他

地域コミュニティ 03

“住民が主役”「お互いさま」の気持ちで支え合う広幡づくり

平成30年4月に「高齢者のための支え合いの地域づくり推進モデル地区」の指定を受け、「推進協議会」を発足。高齢化が年を追うごと進む中、高齢者の一人暮らし、高齢者世帯の増加、障害者世帯、子育て世帯等、公的サービス以外の支援を必要とする方々が増えています。
そこで、“ちょっとした困りごと”を住民同士が助け合う生活支援サービスをスタートし、助けられたり・助けたり「お互いさま」の気持ちで支え合う地域づくりを行っています。
ゴミ出し・草取り・外回りの清掃・お話し相手・子守り等のサポートを通して住民同士の対話も増え、孤立防止・見守りの輪を更に強化し、「お互いさま」の精神により「向こう三軒両隣の絆」の構築を図っております。
会員よりの「ありがとう」の一言が支援会員との心を繋ぎ、この輪の拡大が「住みよい広幡」の基礎となることを信じて活動しています。
“熱い心と輝く笑顔で　誰もが住みやすい　広幡に”







お問い合わせ
広幡お助け隊
TEL 054-643-1362　代表 守屋　和夫

市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：70人

会員募集中

ボランティア参加 OK

「ありがとう」の
感謝の言葉に支えられています。
今後も活動の拡大を図ります。

企業 行政 地域 教育 NPO その他

地域コミュニティ 04

オリーブ産地化事業を核とした地域の活性化を推進＼(^o^)／「食と農」のアンテナエリア形成へ向けたまちづくり、賑わいづくりを創出

仮宿地域は農業従事者の高齢化、後継者不足により農業の担い手の確保が難しく、耕作放棄地が年々増加しています。一方、新東名高速道路の開通により、仮宿地区を含む藤枝岡部IC周辺の利便性が非常に向上しており、人や産業が集積するポテンシャルを有しています。この契機を最大限活用するために、地域資源である農業を活かした新たな土地利用を図っていくことが求められています。
県内でオリーブの栽培や６次産業化商品の開発などを手掛けている㈱CREA FARMが仮宿公会堂周辺の農地約4.1haに農業参入したことをきっかけに、オリーブの産地化を核とした地域の活性化、賑わいづくりの推進に取組む組織として、農地地権者及び地域住民をメンバーとして協議会を設立しました。
現在、オリーブを活用したパンやケーキ等の商品づくりに取組み、地元農産品を活用したり、食品販売店と連携してイベントへ出展しており、高校生の学生ボランティアの募集や世代間の交流を促す取組みを進めています。
今後はオリーブの栽培を通した幼・小・中学生への自然環境教育や食育教育を計画しています。また、藤枝オリーブ園が当市のシンボルとして、地元住民や市民は基より県内外から大勢の方々にお越しいただき、「ふれあいの場」「憩いの場」「コミュニケーションの場」を提供できる「まちづくり」を目指し、「食と農」のアンテナエリア形成へ向けダイナミックに展開していきたいと思います。





お問い合わせ
「仮宿藤枝」オリーブ産地化事業推進協議会
TEL 090-6095-4265　代表 八木　淳
MAIL js8lnkw2@sf.commufa.jp

市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：63人（うち役員16人）

「まちづくり」の一環として、地元の
農産品や食品販売されている
各店を廻る「仮宿美食ツアー」（仮称）や、
仮宿地域の歴史文化を探索する
「仮宿史跡巡りツアー」（仮称）の検討
を予定しております。

企業 行政 地域 教育 NPO その他

地域コミュニティ 05

笑顔がいちばん

地域の高齢者が家の中に引きこもらず、仲間づくりを通して、「元気になろう」「生きがいを持とう」を主軸に、毎月15日に一五の会、25日にお茶のみ会を開催し、地域のお年寄りが気楽に楽しめる「居場所」づくりを行っています。季節にあった様々な企画や手づくりの昼食など、工夫を凝らして開催しています。食事時の笑顔おいしいねの一言が励みとなり、「次は何にしようか」と企画を練るのも楽しいです。講師を招きお話していただいたり、なつかしい写真を見、歌を歌い、軽体操、手作業、ゲームをしたり、声を出し、手を使い、体を動かし、頭をひねったり、会員・ボランティア共に元気で楽しいひとときを過ごしています。
他にも、世代間交流促進のための「ふれあい：寺子屋」や「夏休みラジオ体操」を開催し、小学生や中高生・大学生のボランティアや保護者、各種団体や町内会の皆さんと共に、学びとふれあいの場を提供しています。
また、活動を伝える会報「いちごだより」は、下当間弁のあたたかな文章と写真を多く活用した見やすい配置が好評で、各方面で賞をいただくことができました。
一五の会の名称の由来は、「一期一会」。コロナ禍ですが、笑顔で集える日々が一日も早く来ることを願って。





お問い合わせ
下当間ふれあいサロン一五の会
TEL 090-7860-5784　代表 望月　一彦
MAIL 09078605784@docomo.ne.jp

市民活躍まちづくり事業補助団体　市民団体活動表彰平成29年受賞団体　会員数：31人

会員募集中

ボランティア参加 OK

あなたのサロンでは、
どのような活動をされていますか。
情報交換歓迎します！

企業 行政 地域 教育 NPO その他

地域コミュニティ 06

「持続可能な地域づくり」課題解決事業 から 価値創造型事業　へ

その地域ならではの景観、ものづくりの技、そして昔ながらのいとなみと、そこに住む人々の魅力。地域には可能性があふれているものの、それを生かすための横のつながりや、人的、資源的な掘り起しができていません。今ある人やモノのプラットフォームを作ることで新たな価値を創造していく必要があります。私達は、まちづくり・観光・食・中山間地域・経済等の面から地域における持続可能な仕組みづくりを目指しています。また、まちづくりにおいてのシビックプライドの醸成。住んでいる人が豊かさを実感でき、訪れる人を通して、ファンの輪が広がっていく地域づくりを目指しています。

【活動内容・実績】

●「藤枝おんぱく～温故知新博覧会～」の開催による地域体験プログラムつくり、地域プラットフォーム形成　●実行委員と「れんげじオーガニックマーケット」の立ち上げ、毎月定期開催　●静岡県内外のおんぱく事業の立ち上げ支援・静岡おんぱくネットワーク連携　●静岡県内の中山間の取材・編集、情報発信　●レンタルスペース運営、蓮華寺池公園周辺の家守事業、冊子制作事業（地域プロモーション等）

【団体の課題と協働の可能性】

●地域との連携の糸口を見つけるための情報提供などの協力ができます。　●中山間地域との連携や企業の支援（地域との連携や商品開発）を募集しています。　●プロジェクトの趣旨に共鳴するデザイナーやサポーター、ボランティアスタッフなどの協力者を探しています。



企業 行政 地域 教育 NPO その他

お問い合わせ

一般社団法人SACLABO

TEL 070-5332-3955　代表 渡村　マイ

MAIL saclabo.mail@gmail.com

会員数：0人

ボランティア参加 OK

「持続可能な地域づくり」の価値観を共有できる団体・企業・自治体とのプロジェクト大歓迎です。

地域コミュニティ 07

「みんなよし」が合言葉　居場所からはじまる共生の場

「かいらハウス」は「皆良＝みんなよし」から名付けられました。それぞれの個性を尊重し、大切な存在として認め合い、気軽に立ち寄ることのできる居場所です。

高齢者から子ども、障害のある方々まで世代を超えて集い、お茶飲み、食事をしながら気軽におしゃべりをして過ごせる「場」を提供しています。一人暮らしの高齢者や生きづらさを抱えた若者たちが地域で孤立しないように、何時でもここに来れば話し相手が居て安心でき、人と人とのつながりや絆が深まるような「みんなの居場所」をめざしてます。

平日は食堂とくつろぎカフェ、交流ワーク（内職作業）、なごみの場（歌声喫茶・歌声広場）、リフレッシュ体験、機織り体験、「おい・わか・こども食堂」を開催しています。利用者とスタッフ相互の交流の場づくりを目的として①出合いの場、②つながりの場、③わかち合いの場、④助け合いの場、⑤生きがいの場としての居場所を提供しています。また、どなたでも無理なく自分で出来る事を通して経験や技能を伝えることで社会参加が出来る場でもあります。地域にしっかりと根付き皆様と共に歩む「居場所」づくりに努めております。







企業 行政 地域 教育 NPO その他

お問い合わせ

かいらハウス

TEL 054-689-1118　代表 今野　有子

MAIL kaira2015@ca.thn.ne.jp

会員数：15人

会員募集中

ボランティア参加 OK

いま、あなたに出来る事で無理なく参加。気楽に「あなたの居場所」にお出で下さい。

地域コミュニティ 08

地域支え合い出かけっCARサービス 西益津お出かけ支援事業

西益津お出かけ支援隊は、令和元年4月に設立しました。西益津地区は高齢化率が市内で3番目に高く、高齢化の波が押し寄せて来ています。そこで私達は、今後高齢化社会の中で何が困るか、何ができるのかを考えました。

そして結論がスーパーへ買い物に行きたくても行けない人たちをサポートしようということでした。一人暮らしの高齢者、運転免許証を返納した人、…買い物に不自由している高齢者もいました。現在31人の方が利用していますが、「ありがたい」「助かる」の感謝の言葉をいただいております。

スーパーで買い物をするということは、品物を見て「高い、安い」「うまそう、まずそう」「大きい、小さい」…いろいろな判断を自分でし、最後にレジでお金の勘定もします。そして行き帰りの車の中では楽しいおしゃべりがあります。これは皆さん脳トレになっています。「認知症の予防」「社会参加」いいことがいっぱいのお出かけ支援です。

さらに、買い物支援に続き、令和2年12月から通院支援の西益津通院サポート隊も始めました。







企業 行政 地域 教育 NPO その他

お問い合わせ

西益津お出かけ支援隊×通院サポート隊

TEL 054-641-8862（西益津地区交流センター）　代表 青木　喜男

市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：36人

毎週1回外に出て、買い物とおしゃべりを楽しんで下さい。運転手と付き添い2名にて、皆さんが安心して買い物が出来るようサポートをしてますよ。

地域コミュニティ 09

支えあいの心を大切に、地域に暖かいふれあいの輪を広げよう。

★会員の元気な笑顔を求めて

私達は、地区に住む高齢者世帯や子育て世帯を対象に、ちょっとした困りごとや不自由にしていることを、会員の中でできる人・得意な人がサービスを提供し解決していく、地域の支え合い事業に取り組んでいます。

「ちょっと困ったことがあるのですけどみてくれませんか」「じゃあ一度うかがいます」こんな気軽な会話からぼちぼちの活動が始まります。この日のサービスは、庭の手入れ（草取りと庭木の剪定）です。午前8時半、作業する会員が、検温を済ませ、マスクを着用してサービス依頼者宅へ集まってきました。事前にコーディネーターが調整した内容に沿って、作業が開始されます。作業中は、十分なソーシャルディスタンスを保ちながら、久しぶりの情報交換で盛り上がり、作業に弾みがつきます。11時半、作業は無事終わりました。会員の元気な笑顔がすばらしい。

第五自治会では、平成20年代に入り一挙に高齢化が進む駿河台の地域福祉について検討するため、地域住民で構成する駿河台福祉懇話会を設置しました。そこでの結論は、「地域の課題は地域の住民が自ら解決していこう」「高齢者世帯、子育て家庭を対象にした支えあい活動が取り組むべき喫緊の課題である」としました。これを踏まえ、実施に向けた検討を重ね、平成24年7月「ぼちぼち」の発足となりました。

このすばらしい笑顔に会うため、また困っている会員のため、支えあい活動をこれからも続けたいと思います。



企業 行政 地域 教育 NPO その他

お問い合わせ

駿河台支えあいの会「ぼちぼち」

TEL 054-644-1917　代表 松井　邦興

MAIL m.chni4816@ca.thn.ne.jp

コミュニティ活動賞平成29年受賞団体　会員数：65人

会員募集中

ボランティア参加 OK

高齢者が互いに支えあうコミュニティの創造という高い目標の下に、ぼちぼちとサービス活動を実践しています。。活動時間はお互いさまで大変楽しく、充実感があります。ご賛同いただける方は、是非入会を歓迎します。



その他 01

明るく前向きに生きる高齢者のパワーを地域に

本会は平成31年4月に発足し、令和2年度で2年目を迎えます。月例会は第2木曜日午後2時から文化センターで実施し、自らの生き方を常に明るく前向きにと願い活動しています。
主な活動は会則に示す次の５点です。①終末期医療と介護の実態把握　②独居者の在宅医療と介護について事例研究　③終末期意思事前表明の重要さを周知　④地域の高齢者との日常的な関わり　⑤会員の資質向上のため講演会等に参加
活動を展開して１年余り、会員の共通理解を図るねらいで取り組んだ輪読会が月例会の活動として定着しました。読んだ本は、令和元年度は石飛幸三著「平穏死のすすめ」、令和2年度は和田秀樹著「自分が高齢になるということ」です。
会の何よりの自慢は『ついすみ会報』です。A4判・オールカラーの会報は、令和2年10月1日現在、第7号を発行しました。多くの会員が執筆し、会報の内容充実を支えています。
また、令和元年8月23日に実施した第1回発表会の参加者は100名を超え盛況でした。第2回発表会は、令和3年2月に開催予定です。更に、会員が地域で自主的に取り組んでいる活動に①独居高齢者宅の訪問、②高齢者の皆様とお茶会、③郷土の歴史に親しむ朗読会があります。「無理なく楽しく」をモットーに活動を展開しています。





お問い合わせ

終の棲家を考える会『ついすみ』

TEL 054-635-1681　代表 十河　惇子

会員数：21人

会員募集中　ボランティア参加 OK

常に進化、
発展を目指します。
応援よろしくお願いします。

その他 02

被災者とボランティアをつなぐ「橋渡し役」として、「会員が楽しく参画して、充実したVCF活動を創造しよう！」

災害ボランティア・コーディネーター藤枝（通称VCF）の活動は令和2年で20年です。定例会議や勉強会を通じて、和気あいあいのもとに会員相互や他団体と情報交換を随時進めています。
「災害発生時」には藤枝市と社会福祉協議会からの要請により、連携して災害ボランティアセンターの運営を担います。具体的には、災害ボランティアセンターに支援を求めてきた「被災者」の皆さんの困りごとを聴いて寄り添い、各地から集結してきた「災害ボランティア」の皆さんへの適切な「橋渡し役」です。また被災状況を把握・分析して、的確な情報の発信を行います。
一方「平時」においては、災害ボランティアセンター運営訓練や災害ボランティアコーディネーター養成講座等を実施して、会員の日々のレベルアップに努めています。更に、藤枝市各地区の自治会・地域防災指導員・小（写真右）中高校からの出前講座や講演会等の要請を受けて、地域に密着した災害ボランティア活動の「和・輪・話」を拡げています。
特に昨今のコロナウイルス感染症対策に配慮した活動について、市当局や各自治会と一層の綿密な連携を進めています。予知の難しい地震をはじめ、風水害等の災害発生に備えて、私たちの地道な活動に一層の期待が寄せられています。
令和元年に「健康福祉大会会長賞」の栄に浴しました。





お問い合わせ

災害ボランティア・コーディネーター藤枝

TEL 054-644-2350　代表 井上　尚光
MAIL michy-nao.inoue@ai.tnc.ne.jp

市民活躍まちづくり事業補助団体　会員数：48人

会員募集中　ボランティア参加 OK

皆さん、私達VCFと一緒に
「地域密着型の災害ボランティア
コーディネート活動」を
展開しませんか！

その他 03

縁の下の力持ち！活動する皆さん、悩める皆さんをサポート！

私達は、藤枝で市民活動を行う皆さんがよりよい活動を行えるように支援を行う「中間支援組織」として、誰もが生き生きと暮らせる社会づくりのために、様々な活動を行っています。
メンバーは様々な市民団体に属して活動を行っていましたが、“市民活動を行う皆さんが気軽に集い、笑顔が絶えない場所を作りたい”という思いから、平成14年度に任意団体を立ち上げ、平成29年度にはNPO法人化しました。
主な活動は、藤枝市から受託している「ふじえだ市民活動支援センター」の管理・運営で、活動する皆さん、活動をしてみたいと思う皆さんの力となるため、会議室等の貸出業務のほか、活動情報や活動場所の提供、相談を行っています。
具体的には、NPO設立相談、市民活動なんでも相談の他、団体紹介や団体の行事などをまとめた「支援センター通信」の隔月発行、ホームページ作成など団体活動に役立つ講座の開催及び藤枝市との共催により市民協働フォーラムの開催などを行っています。
また、自主事業として、市民活動団体の交流会を行ったり、皆さんの活動に役立つスキルを学ぶ機会や、交流を通して想いを伝え合う機会を提供しています。
今後は、地域で活躍できる人材の育成に力を入れ、地域と連携した市民参加のまちづくりを行っていきたいです。




お問い合わせ

NPO法人藤枝市民活動サポートぴゅあ

TEL 054-646-3555　代表 藤田　秋夫
MAIL f-pyua@cy.tnc.ne.jp

会員数：17人

会員募集中　ボランティア参加 OK

市民活動を盛り上げたい方を
募集中！
一緒に地域活動を
盛り上げませんか？

市民活動の拠点

ふじえだ市民活動支援センターのご紹介

～何かを始めたい、活動したい皆さんの想いをサポート・応援します！～

ふじえだ市民活動支援センターとは？

市民活動（市民の自主的・主体的な活動）を支援するための施設です。
市民活動の拠点として、様々な情報や活動団体の交流の場を提供します。
藤枝市を中心として活動している方なら、どなたでも利用できます。
※ただし、営利・政治・宗教目的の活動は除く









こんな時にご利用ください！

打合せや作業をするために、みんなで集まれる場所が欲しい！
活動の相談をしたり、登録している他の団体と交流したい！
会議の資料を印刷したり、イベントのチラシやポスターを作りたい！

支援センター利用案内

開館日 **月曜日～金曜日**
9：30～16：30

休館日 **土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・お盆期間**
※時間外・休館日は、フリースペース又は事前予約に限り使用可能（文化センター休館日（第2日曜日、年末年始）は使用不可）

登録料 **1,000円**

年会費 **1,200円**
（年度途中は100円/月で計算します）

支援センターの利用登録はメリットいっぱい！

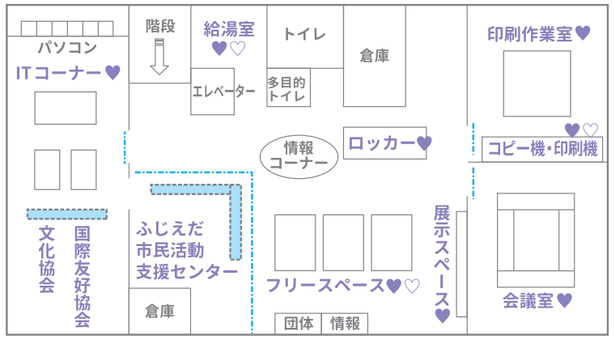
❶ フロアの各会議室・ITコーナーなどを利用可能！
…打ち合わせ場所やパソコンなど活動に欠かせないツールを、無料で予約・利用できます。

❷ 印刷機・コピー機を割引価格で利用可能！
…プロジェクターやスクリーン等の貸出（有料）もあります。

❸ 団体の情報発信のお手伝い！
…支援センター通信やホームページに活動情報を掲載し、PRのお手伝いをします！

❹ 活動のスキルアップ、交流の拡大の場の提供！
…活動に役立つ研修会や交流会等、様々なイベント情報をお知らせ！

❺ センター利用時に市営駐車場料金の一部を助成！



♥…登録団体のみ利用可（事前予約も可能）♡ …登録団体以外も利用可

お問い合わせ

ふじえだ市民活動支援センター
（文化センター 2階）
TEL 054-646-3555
FAX 054-639-5334
MAIL f-pyua@cy.tnc.ne.jp
H P https://www.fpyua.com

応援します、輝くまちであるために。市民活躍まちづくり事業補助金

市民団体の皆さんが行う、地域のためになる活動に補助金を交付します！あなたのアイデアを実現して、市民が活躍するまちづくりに参加しませんか？



たとえば…
高齢者のための生活支援、
夏休み限定の現代版寺子屋、
子育てを応援するイベントなど、
“地域を盛り上げる”
“みんなのためになる”
事業を支援！



対象事業 市民団体（5人以上）が実施する公益的な活動

補助金額 上限10万円 ※補助率は補助の種類による

募集締切 毎年度5月上旬（プレゼン審査の後、交付決定）

補助の種類 団体の構成メンバーや実施事業に合わせた支援が選べます。

1 活動推進支援（ステップアップ）…団体の自立や活動の発展に向けた活動
2 活動拡大支援（ジャンプアップ）…新たな取り組みや団体同士の連携を行う活動
3 高齢者活躍支援…高齢者中心の団体が行う事業又は高齢者活躍を支援する活動
4 女性活躍支援…女性中心の団体が行う事業又は女性活躍を支援する活動
5 クラウドファンディング支援…クラウドファンディングによる資金調達に挑戦する事業

市民活躍まちづくり補助金 検索

広げよう“まち美化の輪” まち美化里親制度

まちの美化活動に意欲を持つ団体や企業などが、公共施設等を「養子（子ども）」に見立て、団体等が「里親」となって、我が子を育てるように環境美化・清掃を実施していただく制度です。

現在、
市民団体を中心に、
60団体以上に「里親」として
活動していただいています。
まち美化活動で、市民参加を
はじめてみませんか？





団体要件 市民3人以上で構成され、環境美化活動を継続的に行う団体（市民団体、企業、学校等）

里親の役割 管理区域の清掃・除草・植栽・情報の提供など

市からの支援 アダプトサイン（看板）の設置、ボランティア保険の加入、物品支給（年間1万円以内）、広報や表彰・助成情報の提供

藤枝市　まち美化里親制度 検索

藤枝市市民活動団体支援室
TEL 054-643-3274 FAX 054-643-3327
MAIL siminkatsudo@city.fujieda.shizuoka.jp

